

点数 各項目20点満点										
No	タイトル	投稿者	評価者	怖さ	鋭さ	新しさ	ユーモアさ	意外さ	合計	書評
1242	備えあれば	木綿めも	大赤見ノヴ	15	15	16	16	15	77	心霊スポットに関する新しい視点の話で不気味さが良いですね。ただ、ギュッと詰め込んだ分、文の切れ味が少し鈍ってしまったように感じます。もう少し文字数を単語を減らし、読み手に委ねてみても良かったのではと感じました。
1267	心当たり	鍋島子豚	大赤見ノヴ	15	17	16	16	16	80	怪談とヒトコワが上手くミックスされた作品ですね。答えを明確にしないことで文字数以上の情景が浮かんできます。
1289	人体ガチャ	青空あかな	大赤見ノヴ	15	15	15	16	15	76	最近はいろんなガチャがシリーズ化されていて、そこを捉えた目の付け所は面白いと思います。ただ、残念なのはワンアイデアでもう一つ捻りが欲しかった印象です。
1384	初体験	柳家花ごめ	大赤見ノヴ	15	16	17	16	17	81	みんなが想像出来るものを怪異として導入した部分からの、怪談好きな人ほど裏切られるオチが秀逸ですね。もう一度読んでみたくなるのと、読みやすくスルリと入ってくる文が上手感じました。
1431	妹	田沼白雪	大赤見ノヴ	16	16	16	16	16	80	とても深読みできる作品だと思いました。呪いに似たその行動はどこから知ったのか、編み出したのか。その男は反省の態度は見られないのに、一ヶ月もなぜ相手にしてるのか。妹は一体何分割にされていてどこで終わりなのか？49日？など色々考えが捗った作品でした。
1462	まいちゃん	京朔太郎	大赤見ノヴ	16	16	16	16	16	80	こちらも文字数以上の情景を与えてくれる作品だと思いました。まいちゃんは何者？おじいちゃんはいまいちゃんとままと別サイド？死因に直結したのはどっち？どっちも？残された母はどう受け止めて良いかわかりませんね。謎すぎて終わるものもどうかと思うのでこのくらいがちょうど良いラインだなと感じました。
1577	ここ、おばけが出るみたい	京朔太郎	大赤見ノヴ	14	14	14	14	13	69	少々伝わりにくい作品かなと。書きたいことと事象はわかるのですが、全体を見直して構成をもう一度されたらもっと良くなるかと思います。荒々しいながらもグラブリとなっているので、もう一度推敲してみてください。
1689	ペット	やま	大赤見ノヴ	15	15	15	15	16	76	意外性に全振りされていると感じる作品ですが、だとしたらもう少し簡潔にするか、もうワンアイデア欲しかった作品だと感じます。
1785	狩り	青空あかな	大赤見ノヴ	15	16	16	16	16	79	まさにシンプルイズベストな作品ですね。主人公がまさかの立場で短いながらも「意味が分かれると怖い話」みたいなテイストが入ってて面白かったです。
1941	ある冬の日	やま	大赤見ノヴ	15	16	15	15	16	77	妻の狂気がよく表現されています。住所がバレた過程でもうひと遊び出来たのではと思いました。蛇足にならず、アイデアを入れることが出来た余白だと感じました。
2043	憑依	深山随園	大赤見ノヴ	15	16	16	16	16	79	最後の意外性と気持ちの悪さが良い作品です。母親に「以前はべったり」だったのも気持ち悪さに拍車をかけてますね。ただし怖さという点がもう少しあれば良いなと思いました。